

進路通信



第4号 令和5年9月29日
東京都立武蔵台学園
校長 金子 猛
進路指導部

今の自分を見つめてみましょう

日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。2学期も1ヵ月が過ぎようとしています。夏休みからの切り替えも落ち着き、生活の流れができてきました。

昨年度まで行えなかった行事が本格的に実施できるようになり、進路に関わる行事についても、実際のお店や施設に行き、体験をさせていただける機会も増えてきています。実際に目の前に具体物があることで理解が深まっていくことを感じます。

2学期は各学部で、校内や校外での見学・体験が予定されております。水面下では、新型コロナウイルスによる感染者が出ております。日々の体調管理に御配慮いただき、元気に過ごしてほしいです。

今回の通信では、夏休みに行われた高等部卒業生アフターケアの様子について掲載させていただきます。小中学部の方にとっては、今からどのような力を身に付けていけば良いのか、高等部の方にとっては、進路選択等の一助として参考にしていただければと思います。

高等部 卒業生アフターケア



夏季休業中に、この春卒業した方たちの進路先訪問をしてきました。

みなさん少しずつ環境に慣れてきたようで、新しい仲間と楽しそうに活動する様子が見られ、担任一同とても嬉しかったです。

- ・生活介護の施設で、在学中より話すことが増えたというAさん。
- ・他の利用者さんに積極的に関わっていき、自分の世界を広げているBさん。
- ・就労継続支援B型の事業所で、工賃を励みに作業に取り組んでいるCさん。
- ・一人暮らしを夢見て、就労継続支援B型の作業を頑張っているDさん。
- ・「来てくれた4月から職場が明るくなりました」と、明るく素直な性格を絶賛されている企業就労をしたEさん。
- ・「想定以上の仕事ぶり」と仕事の様子を褒められていた企業就労をしたFさん。
- ・在学中は学校を休むことが多かったのが、仕事は1度も休まず行っており「仕事が楽しい」と話していたGさん。

～アフターケアを終えて担当から～

新しい環境に慣れて、仕事をする生活を楽しんでいる卒業がいる一方で、新しい環境に慣れず苦しんでいる卒業生もいました。困ったときに自分から相談できず、職場に行くのが嫌になっている人、周りの人とうまく関わらず「自分の悪口を言っているのでは」と不安になっている人など、苦しんでいるのは「人間関係について」でした。

在学中から、人と関わることの経験や困ったときの対応の仕方を家庭と学校とで連携して支援していくことは、児童・生徒の生きやすさや楽しさにつながっていくように思いました。

～就労継続支援 A 型事業所～について

○事業の内容

- ・一般企業への就職が不安、あるいは困難な場合に、一定の支援がある職場で雇用契約を結んだ上で働くことが可能な福祉サービスのことです。
- ・一部例外はありますが、雇用契約を結ぶため、勤務形態は基本的に一般就労と変わりません。1日の勤務時間が比較的短い点など自身の状況に合わせて勤務の幅をもてることが特徴です。
- ・就業場所の最低賃金が保証されるため、給与としては時給計算となります。

○仕事内容

- ・パソコンによるデータ入力代行、カフェやレストランのホールスタッフ商品のピッキング、部品などの加工などがあります。



※利用するためには、市区町村による受給者証が必要となります。

①自立度・・・一人で通所する力が求められます。雇用契約が基本となるため、企業就労するために必要な力と同等程度のことが必要です。福祉サービスであるので、勤務時間やコミュニケーション方法、業務にあたっての視覚支援などの配慮があります。自分にとってどのような支援が必要なのか伝えられることも大切です。

②就労意欲・・・何かしらの事情があり、企業就労は難しいが、自分のもてる力を短い時間で発揮することができる。働きたいという気持ちを強くもっているなど、就労に対する意欲が必要になります。

東京都の最低賃金が変わります

- ・令和5年10月1日から東京都の最低賃金が1113円に引き上げられます。賃金が上がるということはその分、仕事として求められることが高くなるかもしれません。今できることを着実にこなし、自分の力を高めていきましょう。
- ・資料としてポスターを添付いたしますので御参考になさってください。

進路に関して疑問に思うことや不安なこと、もっと詳しく知りたいことなど、質問、相談を随時、受け付けております。お電話や下の2次元コードより、お気軽にご相談ください。



見て・感じて・知る

よろしくお祈りします

